

# San Antonio Missions

National Park Service  
U.S. Department of the Interior

San Antonio Missions  
National Historical Park



サンアントニオ・ミSSIONズ

Japanese



サンアントニオ・ミSSIONズ国立歴史公園へようこそ。当園敷地内には、ヨーロッパ諸国によるアメリカ大陸植民地時代のスペインの影響力の証となる、4つの独立した伝道所があります。スペイン帝国のテキサスへの拡張は、植民地支配の痕跡を色濃く残しました。中東文化に触発されたスペインの建築と芸術が、地元の豊かな伝統芸術、周辺の土地、サンアントニオの人々の文化的アイデンティティと融合し、これらの伝道所に今も生き続けています。

## 設立

サンアントニオ伝道所は、スペイン帝国が急速に拡大した18世紀の初めにフランシスコ会修道士によって設立されました。スペイン政府から派遣された修道士たちは、先住民をカトリック教に改宗させ、スペイン語で生活や仕事をこなせる市民へと教育、訓練しました。スペインは、新世界での地位を強化し、フランス勢力が、ルイジアナ州から西方のテキサス州へ進出してくることを防ぐために、これらの伝道所を設立したのです。

## 先住民

サンアントニオ・ミSSIONズに加わった人々は、この地域で何千年も住んでいた様々な狩猟採集集団の出身でした。それぞれ独自の方言、宗教的慣習、文化がありましたが、彼らには共通の特徴がありました。テキサス州南部からメキシコ北東部に広がる地域で、季節ごとに食料を求めて移動していました。彼らは狩猟をし植物を採取し、かごを編み、陶器を作り、他の先住民集団と取引も行いました。1600年代には、他の先住民の一部、アパッチとコマンチが彼らの勢力圏に侵入し始め、資源をめぐる争いが激化しました。さらに不幸なことに、ヨーロッパから持ち込まれた病気の蔓延に伴い、人口が減少しました。そのような過酷な状況にあった彼らは、労働および改宗と引き換えに、伝道所で無料の住居と食事を与えられました。しかし残念なことに、伝道所の壁をもってしてもヨーロッパ由来の病気を防ぐことはできず、その後、伝道所内の死亡率は70%にも達することがありました。そのため、伝道所に十分な人口を確保するために、常に多くの先住民を集めました。

## 伝道所で

フランシスコ会修道士たちは、先住民にカトリックの教義とスペイン語を教え、また商人や兵士の助けを借りて、石工、大工、織工、鉄工などの仕事を教えました。それにより、先住民は伝道所内だけでなく、町にも必要な物品を供給できるようになりました。この生活の変化は、彼らに過酷な肉体的、精神的、そして宗教的作業を課すこととなりました。厳格な伝道所での生活は、自然のリズムで生活することに慣れてきた先住民にとって、大きな変化をもたらしました。伝道所の外でも、先住民は農民やバケロス（カウボーイ、一般的に10代の先住民の男の子）になる術を学びました。アメリカのカウボーイが、19世紀から20世紀、そして今日に至るまで用いている、先端に大きな輪を作った長いロープで馬上より家畜を捕まえる投げ縄は「ラッソ」と言い、当時のバケロスによって編み出されました。この投げ縄を意味する「ラッソ」や「ラリアット」など多くの単語は、スペイン語の「牧場」を意味する言葉が語源となっています。



## Mission Concepción



1755年に献堂されたコンセプション伝道所の教会は、2世紀以上経った今も当時と変わらぬたたずまいです。アメリカでは、当時の姿のまま現存する石造りでは最古のもので、風格のある教会です。中東の文化に触発された、カラフルな幾何学模様 Fresco 画で表面が装飾されています。Fresco 画の多くは色あせたり、すり減っていますが、一部は今でも当時の姿を残しています。  
807 Mission Rd, San Antonio, TX 78210

## Mission San José



1777年ここを訪れた修道士がこのサンホセ伝道所について次のように記述しています。「ここは、このアメリカの地で最高の伝道所だ…美しさ、設計、強度…どの観点からもここに引けを取らない要塞は、この長い前線のどこにもない。」アメリカ国内のスペイン伝道所では今日に残る当時の精巧な石造物の彫刻がいくつか発見されています。このサンホセ伝道所は、教会の屋根とドーム、外壁など、多くの箇所が1930年代に復元されています。ですが、ここで目を凝らすとファサードと呼ばれる正面に、手つかずのまま残っている貴重な彫刻を見ることができます。  
6701 San Jose Dr, San Antonio, TX, 78214

## Mission San Juan Capistrano



コンセプション伝道所やエスパーダ伝道所と同様に、サンファン伝道所は当初はテキサス州東部で1700年代初期に設立されました。1731年にサンアントニオ川沿いの現在の場所に移築されました。サンファン伝道所には、当時のラボレス（農場）と今なお機能するアセキア（水路）が現存しています。また、サンアントニオ川の元の水路の一部に沿って、障害のある方でもご利用可能な短い遊歩道があります。ヤナグアナ小道を歩けば、亀を見たり、赤い肩をした鷹（アカオノスリ）の鳴き声を聞いたり、野生の生き物を身近に感じることができます。  
9101 Graf Rd, San Antonio, TX, 78214

## Mission San Francisco de la Espada



1690年にテキサス州東部で設立されたエスパーダ伝道所は、コンセプション伝道所とサンファン伝道所と共にサンアントニオ川沿いに移築され、最南端に位置する伝道所として現存しています。1745年に修道院が建てられ、1756年に教会が完成しました。1821年にメキシコがスペインから独立した後、この伝道所は1824年に宗教から分離され世俗化しました。エスパーダ伝道所はメキシコ軍が使用し、その間にいくつかの建物が建設・改装されました。1740年代に作られたエスパーダ伝道所の水路（アセキア）は、今日も周辺家庭の生活に使用されています。  
10040 Espada Rd, San Antonio, TX, 78214

ご来園に際して  
ビジターセンターと各伝道所の営業時間は、感謝祭、12月26日、元日を除き、毎日午前9時から午後5時までです。  
公園内に飲食施設、キャンプ場、宿泊施設はございません。周辺施設をご利用ください。

### 安全のために

- ・ 滑りやすい道、斜面、階段があります。ご注意ください。
- ・ ヒアリを避けるため、歩道以外には立ち入らないでください。
- ・ 貴重品は目につかない場所（トランクの中など）に保管し、車のドアは必ずロックしてください。
- ・ 路面の状態にご注意ください。突然の集中豪雨が発生することがあり、大変危険です。サンアントニオ川の水位が上昇すると、サンノゼ伝道所の南にある車道は閉鎖されます。重大な事故を防ぐため、洪水発生時に水位等の危険をしらせる通行規制は必ず守り、冠水している場所での無理な横断は避けてください。

### 注意点

- ・ 石の構造物には近寄らないでください。
- ・ 伝道所は祈りの場です。礼拝の邪魔にならないよう、司祭や教区民への配慮をお願いします。

### アクセス

- ・ 施設、サービス、プログラムはどなたでもご利用いただけます。詳細については、ビジターセンターや、公園スタッフ、お電話、又は当園のウェブサイトにてご確認ください。
- ・ 車椅子は、各伝道所のコンタクトステーションで貸し出しています。